

静岡県立大学短期大学部

特別研究報告書（13・14年度） 31

## 知的障害養護学校の児童・生徒の口腔衛生の実態調査

海老名和子

### Realities Investigation in School for Mentally Retarded Children

EBINA Kazuko

#### はじめに

近年、高齢者や障害者に対する医療・福祉の連携による充実が求められている。これは知的障害児にとっても同様であり、生活の質の向上が求められている。歯磨き行動は、障害児にとって口腔内を清潔に保ち、う蝕や歯周病を予防することだけではなく、毎日歯磨きを行うことによる日常生活の習慣を確立していくための療育としての目的がある。児童が、自分自身で口腔内を管理していくのは困難であり、歯科衛生士による専門的指導が必要となってくる。しかし充実するためには、日々児童と接している児童の周辺の人々の援助が必要である。とりわけ家族の関わり方が重要になってくるのである。

今回は、歯科衛生学科の実習施設となっている市内の知的障害児養護学校のご協力によりその実態を把握することと、学生の臨床実習、障害児の歯科保健活動に生かすことを目的に児童の口腔衛生の状況、保護者の口腔衛生に関する知識、意識について調査を行った。

#### 方法

##### 1 調査対象

対象者は、知的障害児養護学校である静岡北養護学校の小学部、中学部、高等部の児童、生徒の保護者であり、無記名式自己記入の質問用紙にてアンケート調査を実施した。対象人数は、小学部61人、中学部49人、高等部94人の合計204人（回収率77.6%）である。今回の調査では、訪問教育児童は、除いた。

##### 2 調査期間

平成13年11月～12月

### 3 調査内容

アンケート内容は、子供の歯磨き行動について、子供の間食について、保護者（援助者）の歯科知識について、保護者の歯磨き行動についての4項目である。子供の歯磨き行動についての項目は、歯磨きの時間帯、所要時間、介助磨きの有無、ブラシの選択基準など12の質問をし、間食についての項目は、回数等3の質問をした。保護者の歯科保健の知識についての項目では8の質問を、保護者の歯磨き行動についての項目は、歯磨き回数、時間など5の質問を実施した。

### 結果

子供の歯磨き状況は、表 1-1 から表 1-12 のとおりである。児童・生徒の歯磨きの実態としては、今回は小学部について報告する。知的障害児養護学校小学部の中で毎日歯磨きをしている児童は、小学部全体の 52.5% とである。そして歯磨きをする時間帯としては、一番多かったのは朝食後で 49.2% であり、次に就寝前の 45.9% であった。また歯磨きの時間は、78.7% の児童が 1 分以内か 1 ～ 2 分程度磨いていると回答している。

表 1-1 歯磨き状況

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
毎日磨いている	4	8	9	7	2	1	32
磨かない日がある	2	1	4	5	1	4	17
自分で磨かない	2	1	4	1	1	2	11
無回答	0	0	0	2	0	0	

表 1-2 歯磨きをする時間帯

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
起床時	0	0	1	3	0	0	4
朝食後	3	9	8	5	1	4	30
昼食後	2	6	3	3	2	0	16
夕食後	2	2	1	2	1	0	8
就寝前	7	7	11	12	2	4	28
間食後	1	1	0	0	0	0	2

表 1-3 歯磨き粉の使用

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
はい	2	6	11	9	2	4	34
いいえ	6	4	6	6	2	3	27

表 1-4 歯磨き時間

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
3分以上	0	0	2	1	0	0	3
2から3分	0	1	2	4	1	0	8
1～2分	6	3	7	7	1	2	27
1分以内	2	5	5	3	2	4	21
わからない	0	1	1	0	0	1	3

次に保護者の子供へのかかわりであるが、保護者が子供の歯磨き等の援助をしているものは、93.4%とほとんどの家庭でかかわっている。その中でも介助して磨くのが49.2%、こどもが歯磨きした後歯磨きするのが32.8%となっている。また忙しい朝の時間でも子供の歯磨き後に磨く13.1%、朝食後の介助磨きをするものが、31.1%もいた。家庭内での口腔の管理にかかわっているのは、母親と回答したものが多く90%であり母親が歯磨きに対しかなりかかわっている。

表 1-5 歯磨きの援助について

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
歯磨き後に仕上げ磨き	1	5	6	8	0	0	20
介助して磨く	7	4	9	5	2	3	30
点検だけする	0	1	1	1	1	2	6
点検、歯磨きしない	0	0	1	0	1	2	4
無回答	0	0	0	1	0	0	1

表 1-6 歯磨き後の介助磨き・仕上げ磨きの時間帯について

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
起床時	0	0	0	1	0	0	1
朝食後	1	2	2	3	0	0	8
昼食後	1	1	0	2	0	0	4
夕食後	1	0	0	4	0	0	5
就寝前	0	4	6	0	0	0	10
間食後	1	1	0	0	0	0	2

親のかかわりについては、中学部、高等部になると一般の場合には親がかかわることはまずないと考えられる。しかし、中学部では83.7%の保護者が、何らかの形で子供にかかわっている。高等部では、64.9%の保護者が、かかわっていた。

表 1-7 介助磨きの時間帯について

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
起床時	0	3	1	10	0	0	14
朝食後	2	10	2	2	1	2	19
昼食後	0	0	0	0	0	0	0
夕食後	1	0	1	0	0	0	2
就寝前	6	0	5	4	2	3	20
間食後	0	0	0	0	0	0	0

表 1-8 歯磨きの主な援助者

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
父親	1	3	2	1	1	1	9
母親	7	10	15	14	3	6	55
祖母	0	0	0	0	0	1	1
その他	0	0	0	0	0	0	0
特に決まっていない	0	0	0	0	0	1	1

表 1-9 歯磨きで工夫していること

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
一緒に磨く	2	3	1	4	0	1	11
数を数える	0	0	2	0	1	0	3
声掛けをする	4	6	12	11	1	4	38
その他	1	2	3	1	2	0	9

表1 - 10 歯ブラシの選択基準

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
値段	1	0	3	2	0	0	6
毛の硬さ	2	2	4	3	1	1	13
ブラシの柄の大きさ	0	3	5	3	1	1	13
ブラシの柄の長さ	0	4	5	3	0	1	13
ブラシの柄の太さ	0	3	6	3	0	1	13
ブラシ部の大きさ	7	10	8	11	2	4	39
CMで見て	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	0	1	1	0	4

表1 - 11 子供の歯肉が気になる

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
はい	4	2	5	9	2	4	26
少し気になる	3	4	6	6	2	1	22
気にならない	1	4	5	0	0	1	11
無回答	0	0	1	0	0	0	1

表1 - 12 歯磨き指導を定期的に受けたい

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
はい	8	7	8	10	1	2	36
どちらでも	0	3	3	4	2	3	20
いいえ	0	0	4	0	0	0	4
無回答	0	0	2	1	1	1	6

次に間食についての項目は、表2-1、2-2、2-3のとおりである。児童がおやつを食べるのは、学校から帰宅してすぐが最も多くおやつを夕食前、夕食後に食べるという児童は、ほとんどいなかった。

表2 - 1 おやつを食べるか

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
帰宅後すぐ	6	10	12	11	3	5	47
夕食前	1	1	1	0	0	0	3
夕食後	0	1	2	2	1	0	6
その他	0	0	0	1	0	1	2
食べない	1	0	2	0	0	1	4

表2 - 2 おやつの内容

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
スナック菓子	2	4	9	6	2	4	27
クッキー類	2	5	3	1	2	0	13
おせんべ類	3	7	3	6	2	1	22
チョコレート類	0	2	6	2	1	3	15
キャンディー類	0	0	1	0	1	0	2
その他	4	3	4	7	1	1	20

表2 - 3 よく飲む飲み物

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
お茶	4	7	10	8	2	6	37
ジュース	4	3	5	4	0	4	20
コーラ類	2	1	3	2	2	0	10
スポーツドリンク	1	0	2	2	0	2	4
乳飲料	3	2	3	3	0	0	11
その他	1	3	5	7	2	2	20

歯科知識の項目では、保護者がどの程度歯科知識を持っているか把握するために歯科に関することを質問した。質問項目は、表3のとおりである。

どの項目に関しても正解率が高く、保護者の歯科について多くの知識をもっていることがわかった。

表3 歯科保健に関する質問

1 永久歯の数について	5 唾液の自浄作用
2 う蝕・歯周病の原因は歯垢	6 萌出直後の歯はう蝕になりやすい
3 う蝕・歯周病は自然治癒しない	7 だらだらおやつはう蝕の原因
4 フッ素はう蝕予防に効果的	8 歯ブラシは3ヶ月で交換する

保護者の歯磨き状況の項目については、表4-1から表4-5までのとおりである。まず歯磨き状況では、毎日歯磨きをしている方は98.4%とほとんどで、磨く回数も朝食後が72.2%、就寝前が68.9%で1日2回以上磨いている保護者も多い状況である。これは歯科保健指導を受けた経験のある保護者が、60.9%と多いことや歯科知識も豊富であることも影響していると考えられる。

表4 - 1 歯磨き状況

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
毎日磨いている	8	10	16	15	4	7	60
磨かない日がある	0	0	1	0	0	0	1
磨かない	0	0	0	0	0	0	0

表4 - 2 いつ歯磨きするか

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
起床時	3	2	3	3	1	1	13
朝食後	6	9	9	12	3	5	44
昼食後	2	4	4	4	2	4	20
夕食後	2	6	3	3	1	1	16
就寝前	6	6	13	10	2	5	42
間食後	1	3	2	0	1	0	7

表4 - 3 定期的に歯科検診を受けている

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
はい	1	1	1	1	1	1	6
いいえ	7	9	16	13	3	6	54

表4 - 4 歯磨き指導の経験有

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
はい	1	8	12	13	4	4	42
いいえ	7	2	5	2	0	3	19

表4 - 5 補助的清掃用具の使用有

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
はい	4	4	5	8	0	1	22
いいえ	4	6	11	7	4	6	38

## 考察・まとめ

知的障害児養護学校小学部の中で毎日歯磨きをしている児童は、小学部全体の 52.5%と低いことが分かった。歯磨きの時間も、78.7%の児童が短く 1 分以内か 1～2 分程度磨いていると回答している。しかし保護者が児童に対して大きく関わっていることが分かった。保護者が、子供の歯磨き等の援助をしているのは、93.4%とほとんどの家庭である。具体的には、介助して磨くのが 49.2%、子供が歯磨きした後に歯磨きするのが 32.8%となっている。さらに忙しい朝の時間帯でも子供の歯磨き後に磨く保護者が 13.1%、朝食後の介助磨きをするのが 31.1%もいた。このように保護者が、子供を愛情を持って深く関わっていることがわかる。さて、家庭内での口腔の管理にかかわっているのは、母親と回答したものが多く 90%もあり父親の関わりは少ない。また親の子供へのかかわりについては、一般的にもそうであるが成長するに従って親がかかわることはなくなってくる。しかし、中学部では 83.7%、高等部では 64.9%の保護者が、歯磨きに関して関わっているのである。

次に間食についての項目では、児童がおやつを食べる時間は、学校から帰宅してすぐが最も多くおやつを夕食前、夕食後に食べるという児童は、ほとんどいなかった。親等の関わりにより食事に影響しないよう配慮しているものと考えられる。

歯科知識の項目では、保護者がどの程度歯科知識を持っているか把握するために歯科に関することを質問したが、どの項目に関しても正解率が高く、保護者の歯科について多くの知識をもっていることがわかった。

保護者の歯磨き状況では、毎日歯磨きをしている方は 98.4%とほとんどで、磨く回数も朝食後が 72.2%、就寝前が 68.9%で 1 日 2 回以上磨いている保護者も多い状況である。これは歯科保健指導を受けた経験のある保護者が、60.9%と多いことや歯科知識も豊富であることも影響していると考えられる。

これらのデータについては、今後より深く分析していきたい。

(2003 年 3 月 19 日 受理)